

科目名称：	会計実務演習Ⅳ	
担当者名：	眞田 浩一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	2
授業の目的・テーマ		
日本商工会議所の簿記検定試験3級合格レベルの理解を得た学生のみなさんに次なるステップとして、日本商工会議所の簿記検定試験2級(商業簿記)合格レベルの授業を行います。3級と比較するとボリュームは多く、近年は検定試験の難易度が高くなっていますので理解力を要しますが、検定合格を目標に授業を進めます。また、簿記検定のみならず経理実務より経験した経理業界の現状等も踏まえ将来各分野に広く応用できるような内容にしたいと考えています。		
授業の達成目標・到達目標		
会計実務演習Ⅲと合わせて日本商工会議所の簿記検定試験2級商業簿記合格レベルを目標とします。講義は履修学生の理解度を確認しながら進めます。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)	60			40	100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 税理士	《経験年数1》 21年

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
仕訳（日商簿記2級試験範囲）	仕訳を応用まで、全て正確に解答できる。	仕訳を応用まで、ほぼ正確に解答できる。	仕訳を基本は、ほぼ正確に解答できる。	仕訳を基本も、ほとんど正確に解答できない。
財務諸表・精算表（日商簿記2級試験範囲）	財務諸表・精算表問題を応用的な内容まで、全て正確に解答できる	財務諸表・精算表問題を応用的な内容まで、ほぼ正確に解答できる	財務諸表・精算表問題を基本的な内容は、ほぼ正確に解答できる	財務諸表・精算表問題を基本的な内容も、ほとんど正確に解答できない。
連結精算表・財務諸表（日商簿記2級試験範囲）	連結精算表・財務諸表問題を応用的な内容まで、全て正確に解答できる	連結精算表・財務諸表問題を応用的な内容まで、ほぼ正確に解答できる	連結精算表・財務諸表問題を基本的な内容は、ほぼ正確に解答できる	連結精算表・財務諸表問題を基本的な内容も、ほとんど正確に解答できない。
原価計算（日商簿記2級試験範囲）	原価計算問題を応用的な内容まで、全て正確に解答できる	原価計算問題を応用的な内容まで、ほぼ正確に解答できる	原価計算問題を基本的な内容は、ほぼ正確に解答できる	原価計算問題を基本的な内容も、ほとんど正確に解答できない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 収益費用の認識基準・合併と事業譲渡	事後学修 トレーニング 問題16-1 ～16-4 問題19-1～19-2	60分
第2回 課税所得の算定・税効果会計・本支店会計	事後学修 トレーニング 問題17-1 ～17-6 問題18-1～18-3	60分
第3回 過去問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	過去問題集 仕訳	90分
第4回 連結会計Ⅰ（資本連結Ⅰ）	事後学修 トレーニング 問題20-1 ～20-4	60分
第5回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）1	事後学修 トレーニング 問題21-1 ～21-3	60分
第6回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）2	事後学修 トレーニング 問題21-4～21-5	60分
第7回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）3	事後学修 トレーニング 問題21-6～21-7	90分
第8回 連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）4	事後学修 トレーニング 21-8	30分
第9回 過去問題集（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	過去問題集 総合問題（148回）	60分
第10回 連結会計Ⅲ（成果連結）1	事後学修 トレーニング 問題22-1～22-3	60分
第11回 連結会計Ⅲ（成果連結）2	事後学修 トレーニング 問題22-4～22-5	60分
第12回 連結会計Ⅲ（成果連結）3	事後学修 トレーニング 問題22-6～22-7	60分
第13回 連結会計Ⅲ（成果連結）4	事後学修 トレーニング 問題22-8～22-9	90分
第14回 過去問題集151回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	過去問題集 総合問題（151回）	60分
第15回 過去問題集153回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	過去問題集 総合問題（153回）	60分
第16回 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）1	事後学修 トレーニング 問題23-1～22-3	90分
第17回 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）2	事後学修 トレーニング 問題23-4～22-6	90分
第18回 連結会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書を作成する場合）3	事後学修 トレーニング 問題23-7～22-9	90分
第19回 製造業会計	事後学修 トレーニング 問題24-1	60分
第20回 過去問題集145回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集145回	90分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 過去問題集146回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集146回	90分
第22回 過去問題集147回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集147回	90分
第23回 過去問題集148回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集148回	90分
第24回 過去問題集149回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集149回	90分
第25回 過去問題集150回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集150回	90分
第26回 過去問題集151回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集151回	90分
第27回 過去問題集152回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集152回	90分
第28回 過去問題集153回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集153回	90分
第29回 過去問題集154回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集154回	90分
第30回 過去問題集155回（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	事前学修 過去問題集155回	90分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては当日の学修範囲について問題集による事後学修が必要であるが、当日だけの復習ではなく毎日30～60分程度の復習を続けることが簿記を理解するためには必要である。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>授業中の提出物・小テスト 40%</p>		
課題に対してのフィードバック		
<p>次回までのプリントは評価し、返却する。また、定期試験は成績確定後、希望者には事務局を通して返却する。</p>		
教科書・参考書		
<p>教科書： よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級商業簿記：該当ページを確認しながら解説を進めます</p> <p>問題集： よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記2級商業簿記：授業中の課題および復習用に活用します</p> <p>合格するための過去問題集日商簿記2級：応用問題・本試験の確認のために活用します</p>		
備考		